

全国老人給食協力会会報

# べんけい草

号外 FAX 版

23年3月28日



各地の活動の様子を  
お知らせ下さい！  
FAX:03-5426-2548  
メール:info@mow.jp

## 東日本大震災 第二報

震災から2週間が経ちました。まだ寒さの厳しい東北地方の仲間の皆様、どうぞ御身大切にと心より思います。

事務局では、被災地の会員団体の状況の聞き取りを行っています。被災地では、日々の食事支援のニーズが大きく高まっている様子です。そして困難な状況の中で、活動を継続、再開しようと努力されている団体の皆様には頭が下がるばかりです。

私たちの活動ははじめから困難な中から始まり、その困難を切り開いてきた経験があります。会員の皆様、できる方法で東北の仲間を支えましょう。

岩手県、宮城県、福島県、茨城県の会員団体  
NPO法人もりおか配食サービス(盛岡市)・  
NPO法人あかねグループ・ぽけっとハウス・  
けやきグループ・NPO法人グループ  
ゆう・ふたばの会(仙台市)・NPO法人支  
え愛ふらっと(福島県桑折町)・NPO法人  
チエリー館(茨城県ひたちなか市)

報道されているように、地域により電気ガス水道のライフラインが完全に復旧していません。あかねグループでは厨房施設に被害が大きく、活動の再開が困難な状況になっています(あかねグループではカンパのほか、ビニール袋、アルミカップ、お弁当箱、米、食材、パソコンなどの物資を求めています。詳しくはあかねグループのホームページを参照下さい)。

配食はおにぎりなどで乗り切ろうという団体のほか、現在は活動を休止し4月再開をめざして準備中の団体もあります。

そのほか、ガソリン不足のため配達は電気自動車か自転車で行っている(みずほ号が大活躍しているようです)、依然として食材の調達に難しい、避難所の環境が厳しいため高齢一人暮らしの方で自宅にとどまる方、自宅に戻りたい方が多い。そうした方の食の確保として配食が強く望まれている、一人暮らしの高齢者の不安が強い、との声が聞かれました。

NPO法人あかねグループ(仙台市若林区)  
代表理事 武田美江子さんからの報告

全国老人給食会会員の皆様

この度の、大地震に際し、ご心配頂きましてありがとうございます。

3月11日の14時46分。私たちは突然襲ってきた大きな揺れに、出来上がったお弁当をひたすら抑えるばかりでした。その夜は停電で信号もつかない暗い町を、懐中電灯をたよりに徒歩と自転車で配達して回りました。

その後判明した震災の被害は皆様ご存じのとおりです。あかねは建物の大きな損壊は免れたものの、ライフラインが停止し配食に関して従来通りの活動は不可能となりました。

翌日より訪問介護サービスはスタッフの強い思いで予定分の活動を続行しております。

配食は翌12日に休業して会員・利用者さんの安否確認に追われたものの、13日より18日までは一斗缶で炭をおこして炊飯し、おむすびを作って安否確認をしながら配達したり、手持ちの食材で「豚汁もどき」を作られて被災された方や道行く人に振る舞うなど、スタッフの知恵と工夫でなんとかイレギュラーな活動をしておりました。

幸い電気も通じたため、21日月曜からはおむすびのみですが配達再開しており、今後ガスが供給されれば完全復活を目指したいと

熱望しています。

現在、特に厨房に被害が大きく、もともと老朽化していた設備がダメージを受け使用不可となり修復困難な状態で、またスタッフ自身も様々な形で被災しているため資金も不足し早期の復旧は困難と頭を抱えております。しかしながら皆様からの励ましを大きな力・心の糧とし、会員一丸となって復旧に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

取り急ぎ、お見舞いの御礼とさせていただきます。  
(3月26日)

## 首都圏の活動団体のようす

事務局がある老人給食協力会ふきのとう(東京都世田谷区)でも、震災後1週間はガソリン不足や食材調達の不安がありました。現在はおおむね安定しています。一方、利用者さんの中には余震や原発の報道などで不安が強く、熟睡できないという声も聞かれます。

計画停電の影響で活動に苦慮している団体も多くあります。時間をずらして調理をしたり、献立を変えて(簡素なものにして)乗り切っています。

## あきたこまち生産者協会さんについて

## 協力により被災地の活動団体へお米を送ります

全国老人給食協会では、(株)大潟村あきたこまち生産者協会(涌井徹代表)さんのご協力を得て、お米25キを6ヶ所の団体へ送ることに決めました。

(株)大潟村あきたこまち生産者協会様へ感謝申し上げます。

## 義援金のお願い

震災号コ文版べんけい草を読み、多くの会員団体からお見舞いと義援金の申し出をいただきました。募金箱を置いたり、ボランティアや利用者さんへ働きかけをしてくださっている皆様、ありがとうございました。集まった義援金は、被災された会員団体へ直接お見舞い金としてお渡します。

### ※振込先

郵貯銀行

口座番号：00120-6-535558

加入者名：全国老人給食協会

○通信欄に、「義援金」と記載してください。

郵貯銀行では現在、震災義援金口の口座開設ができなくなっています。そのため、既存の口座にて義援金を受け付けとさせていただきます。ご理解のうえ何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

## 事務局より

11日の地震でお弁当がいくつかダメになり、コンビニに走ったら閉店していて、カセットコンロで調理をしてお弁当を作り、夜7時までかけて配食したとかねグループの方に聞きました。あかねグループは津波被害が大きかった若林区にあります。あの状況で、と絶句しました。

被災地の皆さんの苦勞には比べるべくもありませんが、東京でもガソリン不足や買いだめによる混乱や停電に加え相次ぐ余震があり不安な気分が満ちています。でもそんな時でもいつもと変わらず活動してください。さるボランティアの皆さん。日本のどこにも責任を果たそうとする市民がいるのだと教えられます。

とにかく各々がそれぞれの持ち場でできることをがんばることだと思います。今、特に一人暮らしの方は不安でいっぱいです。被災地以外ではできるだけ変わらぬ活動をして、支え合いましょう。困難に立ち向かってきた知恵と経験を生かしましょう。計画停電の地域では、夏まで続くといわれている停電へどう対応するか、話し合いを始めましょう。

全国老人給食協会ホームページでも情報をお知らせしています。

発行日：2011年3月28日

発行：全国老人給食協会

東京都世田谷区桜丘4-13-21

電話 03(5426)2547)

FAX03(5426)2548

URL <http://www.mow.jp/>

メール [info@mow.jp](mailto:info@mow.jp)